

# 令和6年度 キャリア教育全体計画

## 【学校教育目標】

『一人一人の思いや願いを大切に、個性を生かしながら、  
児童生徒の自立と社会参加をめざす教育の推進』  
～自立活動の視点から教育課程をオーダーメイドする～

## 【国の動向】

特別支援学校学習指導要領  
中教審答申「令和の日本型学校教育」の構築をめざして  
障害者の権利に関する条約  
障害者差別解消法  
こども基本法

## 【地域・社会】

## 【保護者の願い】

【小学部目標】	【中学部目標】	【高等部目標】
<b>【興味関心を生かす】</b> ❖ 周囲とともに様々な経験を ❖ 様々な経験から好きなことへ <b>【自己肯定感を高める】</b> ❖ 「できたね」「すごいね」「それでいいよ」の経験の蓄積 <b>【自主性・主体性を高める】</b> ❖ 選択・決定の経験の蓄積 ❖ 選択・決定による主体的な取り組み <b>【社会性を高める】</b> ❖ 思いが伝わる喜びを実感できる経験の蓄積 ❖ 他者との安心できる人間関係の醸成	<b>【興味関心を生かす】</b> ❖ 好きなことの深まり ❖ 好きなことが自信へ <b>【自己肯定感を高める】</b> ❖ 挑戦を繰り返す中での「できた」の実感 ❖ 他者から感謝される経験の蓄積 <b>【自主性・主体性を高める】</b> ❖ 選択・決定による達成感の蓄積 ❖ 試行錯誤を経た課題解決 <b>【社会性を高める】</b> ❖ 挨拶、マナー、言葉遣い ❖ 心地よいコミュニケーション体験の蓄積	<b>【興味関心を生かす】</b> ❖ 好きなことで自分の生活を豊かに ❖ 好きなことで社会とのつながりへ <b>【自己肯定感を高める】</b> ❖ ○○があれば、□□できることの実感 ❖ レジリエンスの向上 <b>【自主性・主体性を高める】</b> ❖ 他者との関わりの中で選択・決定の蓄積 ❖ 他者との協働による課題解決 <b>【社会性を高める】</b> ❖ 報告・連絡・相談 ❖ 良好な人間関係づくりの蓄積

## 【キャリア教育によって育む児童・生徒像】

- 自分を大切に、人を大切にしようとする人
- 自分らしい生き方を、自分で決めようとする人
- 自分のために、人のために、力を発揮しようとする人

## 【進路指導目標】

体験学習を軸とした学習の充実  
外部との連携  
主体的進路選択

## 各学部段階におけるキャリア発達段階と教育目標

各学部段階	小学部	中学部	高等部	
<b>キャリア発達段階</b>	(第1段階) 知的発達が未分化で生活経験が少ないため、大人の援助を受けながら体験の幅を広げたり行動したりする時期。	(第2・3段階) 主体的に活動に取り組み、日常生活動作(ADL)や社会生活につながる行動を身に付けていく時期。	心身両面にわたる発達が著しく、自己の生き方について関心が高まる時期。小学部段階で培ってきた内容やそれまでの経験を踏まえ、生活年齢に応じながら、経験の積み重ねを重視すると共に、個々の実態を配慮しながら、社会生活や将来の職業生活の基礎を育てていく時期。	人間としての在り方や生き方を模索し、自我を確立し、価値観を形成する時期。中学部段階で培ってきた内容やそれまでの経験を踏まえ、卒業後の家庭生活、社会生活および職業生活などを考慮した基礎的な内容から発展的な内容までを個々の実態に即して学ぶ時期。
<b>キャリア教育目標</b>	生活に即した体験を通して、大人の支えを得ながら物事に取り組もうとする態度を養う。主に大人のかかわりを通して人とのかかわりを楽しむ(安心感)。	集団における活動や体験活動を通して、 <b>自主的・主体的</b> に物事に取り組もうとする態度を養う。与えられた役割を果たすことによって <b>他者の役に立つ経験</b> を積み重ねる。日常生活に必要な力(日常生活動作)を身に付ける。	集団における自分の役割を理解し、責任をもって役割を果たそうとする態度や意欲を養ったり、 <b>認められる喜び</b> を知ったりする。周囲の人と <b>協力し認め合い</b> ながら取り組んだり、自分らしさを表現したりする態度や意欲を養う。社会生活や家庭生活への関心を高め、それらの基礎的な力を養う。	職業体験を通して、 <b>働く喜び</b> を感じる。自分の将来の社会生活や家庭生活に関するイメージをもち、豊かな生活を送るための具体的な技能を養う。就労に必要な知識・技能・態度を高めたり、卒業後の生活のあり方を <b>自己決定</b> したりすることができる。
	安心感・体験	自主性・主体性 自己有用感・日常生活動作	所属感・協力・自己表現 社会家庭生活の基礎	自己選択・自己決定・勤労観・職業観 社会家庭生活の具体的技能

キャリア教育の視点から整理した教科・領域等での指導目標

		小学部（第1段階）	小学部（第2・3段階）	中学部	高等部
教科	国語	◆主に大人とのかかわりの中で、言葉に対する興味・関心をもつ ◆日常生活に必要な基本的な言葉が分かる	◆日常生活に必要な基本的な言葉がわかり、自ら進んで使う	◆日常生活に必要な言葉の理解を深め、自分らしい表現をする経験をし、社会生活や職業生活の基礎を身に付ける	◆職業生活や社会生活に必要な言葉の理解を深め、人や場に応じて適切に活用する
	算数・数学	◆色や形、大きさや量の違いに気付き、対応したり、集めたりする	◆数量の多少や図形の違いに気付き、比較したり分類したりする ◆暦や一日の流れに関心をもつ	◆社会家庭生活に必要な数量や図形、時間に関する理解を深め、活用する	◆職業生活に必要な数量や図形、時間などに関する理解をさらに深め、適切に活用する
	音楽	◆歌遊びや音遊びを通して、音楽に親しもうとする	◆簡単なメロディーに合わせて歌ったり、身体を動かして楽しんだりする	◆いろいろな音楽の違いを楽しみながら聴いたり、自分らしく表現したりしようとする	◆表現力や理解力を高め、自分らしく楽しんだり、生活が明るく楽しくなるように音楽を活かしたりする
	図画工作・美術	◆身近にあるものへ触れたり、力を加えたりして造形遊びを楽しむ	◆はさみやのり、絵の具などの使い方に慣れ、描いたり作ったり飾ったりする活動を楽しむ	◆様々な道具の使い方に慣れ、基礎的な表現力や鑑賞力を身に付ける	◆素材にあった道具を適切に使って、創造的な作品を制作する活動を楽しんだり、それらを飾って生活を豊かにしたりする
	保健体育	◆粗大運動遊びを通して、体力の増進や身体を動かすことを楽しむ	◆基本的な運動姿勢や動きをいろいろな方法で行ったり、安全に遊んだりする ◆友達と一緒に簡単なきまりを守りながら、楽しく運動する	◆自分の発育・発達や健康・安全についての理解を深める ◆きまりや簡単なスポーツのルールなどを守り、友達と協力して安全に楽しく運動する	◆心身の発育・発達に応じた適切な行動や、生活に必要な健康・安全に関する事柄の理解を深める ◆体力や技能を高め、運動する楽しさを味わい、健康で豊かな生活を営む態度と習慣を身に付ける
	職業			◆仕事について理解するとともに、職業生活に必要な能力を高め、実践的な態度を育てる。	◆勤労の意義について理解するとともに、職業生活に必要な能力を高め、実践的な態度を育てる。
領域	特別活動	◆大人とともに学級や学部の活動に参加し、小さい集団での活動に慣れる	◆集会活動や行事を通して、自分から参加し活動しようとする意欲をもつ	◆友達と協力して活動したり、決められた役割を果たしたりする	◆集団において他者と協力・共同し、役割や責任を果たしながら、働く喜びを感じる
	自立活動	◆安心・安全のある人間関係の中で、外部からの刺激に対して、反応したり、かかわろうとしたりする態度を高める	◆人にかかわりたいという気持ちを高め、コミュニケーション手段を選択・活用しながら言語を形成し、身近な人に自分から意志を伝える	◆様々な人に自分の意思を伝えたり、他者の意図や感情を理解したりする経験を通して、自己の理解と調整をする	◆様々な状況や変化を把握し、状況に応じたコミュニケーションからよりよい人間関係を形成し生活する
	進路学習 (総合的な学習の時間)			◆職場見学職場体験等を通して様々な職業があることを知り、夢や憧れをもつ ◆自分の進路に関心をもち、目標や向上心をもつ	◆働く意義についての理解を深め、自分の価値観や勤労観をもつ ◆現場実習を通して適切な職業観をもつ ◆自己理解を深め課題意識をもち、目標に向けて取り組む ◆卒業後の生活に期待をもちながら、将来の生活設計や進路計画を立てる
領域・教科を合わせた指導	日常生活の指導	◆生活の流れに沿って、支援を受けながら日常生活に必要な身辺処理をする	◆基本的な生活習慣と社会生活に必要な基礎的な知識・技能及び態度を身に付ける	◆場の状況や相手を意識した言動、時間管理など集団生活を送る上でのよりよい習慣を身に付ける	◆職業生活に必要な適切な言動を自分で判断しながら、自立的に生活する態度を身に付ける
	生活単元学習	◆生活に結び付いた活動に、大人とともに取り組み、生活経験を広げる	◆生活に結び付いた活動に、友達とともに主体的に取り組む	◆社会生活や家庭生活への関心を高め、それらの基礎的な力を身に付ける	◆卒業後の社会家庭生活に必要な知識・技能・態度を身に付ける
	遊びの指導	◆大人の働きかけを受けながら「人・もの・こと」にかかわろうとする意欲をもつ	◆好きな遊びをもち進んで遊ぶことで、様々な身体活動を行ったり、友達やいろいろな物とかかわる意欲をもったりする		
	作業学習			◆働くことに関心をもち、分担したり協力したりして作業に取り組む	◆職業生活に向けたよりよい知識・技能・態度を身に付け、働く喜びを味わう

キャリア教育の視点から整理した教科・領域等での学習内容例（１）

		小学部（第1段階）	小学部（第2・3段階）		中学部	高等部（1・2段階）		
教科	国語	<指導目標>	◆主に大人とのかかわりの中で、言葉に対する興味・関心をもつ ◆日常生活に必要な基本的な言葉が分かる		◆日常生活に必要な基本的な言葉がわかり、自ら進んで使う	◆日常生活に必要な言葉の理解を深め、自分らしい表現をする経験をし、社会生活や職業生活の基礎を身に付ける	◆職業生活や社会生活に必要な言葉の理解を深め、人や場に応じて適切に活用する	
		聞く	○教師の話や読み聞かせなど、絵本などを読んでもらったりする		○教師や友達などの話し言葉に慣れ、簡単な説明や話し掛けが分かる	○話のおよその内容を聞き取る	○話の内容の要点を聞き落とさないように聞き取る	○話し手の意図や気持ちを考えながら、話の内容を適切に聞き取る
		話す	○教師などの話し掛けに応じ、表情、身振り、音声や簡単な言葉で表現する		○見聞きしたことなどを簡単な言葉で話す	○見聞きしたことや経験したこと、自分の意見などを相手に分かるように話す	○目的や場に応じて要点を落とさないように話す	○自分の立場や意図をはっきりさせながら、相手や目的、場に応じて適切に話す
		読む	○教師と一緒に絵本などを楽しむ		○文字などに関心をもち、読もうとする	○簡単な語句や短い文などを正しく読む	○いろいろな語句、文及び文章を正しく読み取る	○目的や意図に応じて文章の概要や要点などを適切に読み取る
		書く	○いろいろな筆記用具を使って書くことに親しむ		○文字を書くことに興味をもつ	○簡単な語句や短い文を平仮名などで書く	○簡単な手紙や日記などの内容を順序立てて書く	○手紙や日記などを目的に応じて正しく書く
	算数・数学	<指導目標>	◆色や形、大きさや量の違いに気付き、対応したり、集めたりする		◆数量の多少や図形の違いに気付き、比較したり分類したりする	◆社会家庭生活に必要な数量や図形、時間に関する理解を深め、活用する	◆職業生活に必要な数量や図形、時間などに関する理解をさらに深め、適切に活用する	
		数量の基礎	○具体物があることが分かり、見分けたり、分類したりする		○身近にある具体物を数える	○日常生活における初歩的な数量の処理や計算をする	○日常生活に必要な数量の処理や計算をする	○生活に必要な数量の処理や計算をする
		数と計算			○初歩的な数の概念を理解し、簡単な計算をする			
		量と測定	○身近にあるものの大小や多少などに関心をもつ		○身近にあるものの長さやかさなどを比較する	○長さ・重さなどの単位が分かり、測定する	○長さ・重さなどの単位が分かり、測定する	○長さ・重さ・量などの測定方法を理解し、活用する
		図形・数量関係	○身近にあるものの形の違いに気付く		○基本的な図形や簡単な図表に関心をもつ	○図形の特徴や図表の内容を理解し、作成する	○図形の特徴や図表の内容を理解し、作成する	○様々な図形、表やグラフを理解し、工夫して使う
	音楽	実務			○一日の時の移り変わりに気付く	○時計や暦に関心をもつ	○金銭や時計・暦などの使い方に慣れる	○生活に必要な金銭や時計・暦などを工夫して使う
		<指導目標>	◆歌遊びや音遊びを通して、音楽に親しもうとする		◆簡単なメロディーに合わせて歌ったり、身体を動かして楽しんだりする	◆いろいろな音楽の違いを楽しみながら聴いたり、自分らしく表現したりしようとする	◆表現力や理解力を高め、自分らしく楽しんだり、生活が明るく楽しくなるように音楽を活かしたりする	
		音楽遊び	○音楽が流れている中で体を動かして楽しむ ○音の出るおもちゃで遊んだり、扱いやすい打楽器などでいろいろな音を鳴らしたりして楽しむ					
		鑑賞			○好きな音や音楽を聴いて楽しむ	○身近な人の歌や演奏などを聴き、いろいろな音楽に関心をもつ	○いろいろな音楽を楽器の音色などに関心をもって聴く	○いろいろな音楽をその美しさなどを感取りながら鑑賞する
		身体表現			○友達や教師とともに簡単なリズムの特徴を感じ取って身体を動かす	○音楽に合わせて簡単な身体表現をする	○音楽を聴いて感じたことを動作で表現したり、リズムに合わせて身体表現をしたりする	○音楽を聴いて感じたイメージを創造的に身体表現する
	図工・美術	器楽	○打楽器などでリズム遊びや簡単な合奏をする		○旋律楽器に親しみ、簡単な楽譜を見ながらリズム合奏をする	○打楽器や旋律楽器などを使って、自由に演奏したり、合奏や独奏をしたりする	○打楽器や旋律楽器などに親しみ、その演奏の仕方に慣れ、気持ちを込めて合奏や独奏をする	○打楽器、旋律楽器などの演奏の仕方に慣れ、楽器の特色や音色を生かしながら合奏や独奏をする
		歌唱	○好きな歌ややさしい旋律の一部分を楽しく歌う		○やさしい歌を伴奏に合わせながら、教師や友達などと一緒に歌ったり、一人で歌ったりする	○歌詞やリズムなどに気を付けて、独唱、斉唱、簡単な輪唱などをする		
		造形遊び	○かいたり、つくったり、飾ったりすることに親しみをもつ ○土、木、紙などの身近な材料をもとに造形遊びをする					
		表現	○見たことや感じたことを絵にかいたり、つくったり、それを飾ったりする		○見たこと、感じたことや想像したことを、工夫して絵にかいたり、つくったり、それを飾ったり、使ったりする	○経験や想像をもとに計画を立てて、絵をかいたり、作品をつくったり、それを飾ったりする	○経験や想像をもとに創造的に絵をかいたり、作品をつくったり、それらを飾ったりする	○経験や想像をもとに、様々な技法を用いて、創造的に絵をかいたり、作品をつくったり、それらを飾ったりする
	保健体育	材料・用具	○粘土、クレヨン、はさみ、のりなどの身近な材料や用具を親しみながら使う		○いろいろな材料や用具を工夫しながら、目的に合わせて使う	○いろいろな材料や用具などの扱い方を理解して使う	○自然や造形品の美しさなどに親しみをもつ	○自然や優れた造形品を鑑賞し、その美しさを味わう
鑑賞				○友達と作品を見せ合ったり、造形品などの形や色、表し方の面白さなどに気付いたりする	○自然や造形品の美しさなどに親しみをもつ	○自然や優れた造形品を鑑賞し、その美しさを味わう	○自然や優れた造形品を鑑賞し、美しさなどを味わうとともに、地域の伝統工芸品に関心をもつ	
<指導目標>		◆粗大運動遊びを通して、体力の増進や身体を動かすことを楽しむ		◆基本的な運動姿勢や動きをいろいろな方法で行ったり、安全に遊んだりする	◆自分の発育・発達や健康・安全についての理解を深める	◆心身の発育・発達に応じた適切な行動や、生活に必要な健康・安全に関する事柄の理解を深める		
基本的な運動		○教師と一緒に、楽しく手足を動かしたり、歩く、走るなどの基本的な運動をしたりする		○歩く、走る、跳ぶなどの基本的な運動に慣れる	○歩く、走る、跳ぶなどの基本的な運動を姿勢や動きを変えながらしていろいろな方法で行う	◆きまりや簡単なスポーツのルールなどを守り、友達と協力して安全に楽しく運動する	◆体力や技能を高め、運動する楽しさを味わい、健康で豊かな生活を営む態度と習慣を身に付ける	
運動遊び/いろいろな運動		○いろいろな器械・器具・用具を使った遊び、表現遊び、水遊びなどを楽しく行う		○いろいろな器械・器具・用具を使った運動、表現運動、水の中での運動などに親しむ	○体づくり運動、簡単なスポーツ、ダンスなどの運動をする	○体づくり運動、いろいろなスポーツ、ダンスなどの運動をする	○体づくり運動、いろいろなスポーツ、ダンスなどの運動を通して、体力や技能を高める	
職業	きまり・安全	○簡単な合図や指示に従って、楽しく運動をする		○簡単なきまりを守り、友達とともに安全に運動をする	○きまりや簡単なスポーツのルールなどを守り、友達と協力して安全に運動をする	○きまりやいろいろなスポーツのルールなどを守り、友達と協力して安全に運動をする	○きまりやいろいろなスポーツのルールなどを守り、友達と協力し、進んで安全に運動をする	
	保健			○自分の発育・発達に関心をもったり、健康・安全に関する初歩的な事柄を理解したりする	○自分の発育・発達に関心をもったり、健康・安全に関する初歩的な事柄を理解したりする	○心身の発育・発達に関心をもち、行動や生活に必要な健康・安全に関する事柄を理解する	○心身の発育・発達に応じた適切な行動や生活に必要な健康・安全に関する事柄の理解を深める	
					○働くことの意義・働くことの意味を知り、意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割に気づく。作業や実習等で達成感を得る。 ○コンピューター等の情報機器の初歩的な操作の仕方を知り、体験したことなどを他者に伝えること。	○勤労の意義・勤労の意義を理解し、意欲や見通しをもって取り組み。その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考える。作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組む。 ○情報セキュリティ及び情報モラルについて知るとともに、表現、記録、計算通信に係るコンピューター等の情報機器について、その特性や機能を知り、操作の仕方が分かり扱えること。		

キャリア教育の視点から整理した教科・領域等での学習内容例（２）

		小学部（第1段階）	小学部（第2・3段階）	中学部	高等部	
領域	特別活動	<指導目標>	◆大人とともに学級や学部の活動に参加し、小さい集団での活動に慣れる	◆集会活動や行事を通して、自分から参加し活動しようとする意欲をもつ	◆友達と協力して活動したり、決められた役割を果たしたりする	◆集団において他者と協力・共同し・役割や責任を果たしながら、働く喜びを感じる
		学習内容	○活動に最後まで参加する【集】	○様々な規模の集団活動に参加する【集】 ○活動に見通しをもって参加する【勤】	○集団活動に参加し、みんなと同じ活動を行う【集】 ○他の学年や学部の人と協力して活動する【集】 ○自分の役割に責任をもち、それを担いながら活動する【勤】	○自分たちで、必要なことを調べたり、話し合ったりして計画を立てて活動する【集】 ○他の人の意見も大切にして話し合ったり活動したりする【集】 ○自己有用感を得ながら、学校のためになる活動を担う【勤】
	自立活動	<指導目標>	◆安心・安全のある人間関係の中で、外部からの刺激に対して、反応したり、かかわろうとしたりする態度を高める	◆人にかかわりたいという気持ちを高め、コミュニケーション手段を選択・活用しながら言語を形成し、身近な人に自分から意志を伝える	◆様々な人に自分の意思を伝えたり、他者の意図や感情を理解したりする経験を通して、自己の理解と調整をする	◆様々な状況や変化を把握し、状況に応じたコミュニケーションからよりよい人間関係を形成し生活する
		学習内容	○快/不快を表わす【意】 ○身近な人やものへ関心をもつ【自】	○好き/嫌いを表現する【意】 ○要求/拒否をする【意】	○より多くの人に伝わる方法で意思を表現する【意】 ○求めに応じ、自分の意思を相手に伝える【意】 ○身近な人に適切な言葉遣いで話す【意】	○自分の意志を相手に伝えたり、理由を相手に伝えたりする【意】 ○様々な人や場に応じた言動をとる【意】
	（総合的な学習の時間） 進路学習	<指導目標>			◆職場見学職場体験等を通して様々な職業があることを知り、夢や憧れをもつ ◆自分の進路に関心をもち、目標や向上心をもつ	◆働く意義についての理解を深め、自分の価値観や勤労観をもつ ◆現場実習を通して適切な職業観をもつ ◆自己理解を深め課題意識をもち、目標に向けて取り組む ◆卒業後の生活に期待をもちながら、将来の生活設計や進路計画を立てる
		学習内容			○職場見学や職場体験を通して、職業や働くうえで必要な知識・技能・態度について知る【勤】【仕】 ○将来についての夢や憧れをもとに、具体的な生活目標を立てる【自】【勤】【生】 ○自分の好きなこと、できること、やりたいことを見つめなおす【自】 ○家庭や学校での自分の役割や、協力の大切さを知る【勤】【集】	○働くことの意義や社会生活における自分の役割や生きがいを見出す【勤】 ○現場実習を通して、社会の中で働くために必要な知識・技能・態度を身に付ける【勤】【集】【仕】 ○現場実習や日頃の学習から適性を知るとともに、これからの課題を考える【自】 ○卒業後の生活について具体的に考え、進路先を選んだり自ら学習を進めたりする【生】 ○社会の様々な制度や福祉サービス等について知り、必要に応じて活用する力を身に付ける【地】
領域・教科を合わせた指導	日常生活の指導	<指導目標>	◆生活の流れに沿って、支援を受けながら日常生活に必要な身辺処理をする	◆基本的な生活習慣と社会生活に必要な基礎的な知識・技能及び態度を身に付ける	◆場の状況や相手を意識した言動、時間管理など集団生活を送る上でのよりよい習慣を身に付ける	◆職業生活に必要な適切な言動を自分で判断しながら、自立的に生活する態度を身に付ける
		学習内容	○教師と一緒に、あいさつや返事をする【意】 ○目的意識をもって行動する【勤】 ○学校での生活に慣れる【勤】 ○してはいけないことが分かる【集】 ○教師と一緒に当番などの役割を行う【勤】	○あいさつや返事をする【意】 ○身近な人と身だしなみを整える【自】 ○一日のスケジュールに沿って行動する【生】 ○トイレや手洗いなどの基本的な生活習慣を身に付ける【生】 ○事象の因果関係が分かる（AができたならB等）【勤】 ○日常生活に必要な簡単なきまりやマナーを守って行動する【地】 ○自分が使ったものを片付ける【生】 ○簡単な手伝いをする【勤】	○身近な人へのあいさつが習慣化する【意】 ○身だしなみに気を付けようとする【生】 ○スケジュールを理解し、見通しをもつ【生】 ○次の活動の見通しを立て、自分から行動する【生】 ○協力して係活動やそうじを行う【勤】【集】	○初対面の人など様々な人に自分からあいさつする【意】 ○自分で場に応じた身だしなみを整える【生】 ○自分の目標をもって取り組む【勤】 ○自分の役割に責任をもち、時間を守って自ら行動する【勤】 ○他の人の得意・不得意を理解し協力して役割を担う【勤】【協】
	生活単元学習	<指導目標>	◆生活に結び付いた活動に、大人とともに取り組み、生活経験を広げる	◆生活に結び付いた活動に、友達とともに主体的に取り組む	◆社会生活や家庭生活への関心を高め、それらの基礎的な力を身に付ける	◆卒業後の社会家庭生活に必要な知識・技能・態度を身に付ける
		学習内容	○大人と一緒に生活に結び付いた活動に参加する【集】	○簡単な目標立てをしたり、自分の役割を果たしたりすることで、達成する喜びを味わう【勤】 ○身近な地域の様々な施設へ出かける【地】 ○身近な仕事、働く人へ関心をもつ【勤】 ○体験を通して金銭の大切さを理解する【生】 ○お店で買い物をする【生】	○提示されたものの中から選択する【意】 ○状況や問いに応じたものを選ぶ【意】 ○地域の様々な施設を利用したり、その用途を理解したりする【地】 ○情報を得るためのいろいろな方法を知り、将来の生活に必要な情報に触れ、興味関心をもつ【生】 ○販売活動を通して、金銭の価値や取り扱いを理解する【生】 ○学校や地域での生活における身近なルールを理解する【地】	○様々な施設や療育手帳を利用する【地】 ○様々なメディアから職業生活や社会生活に必要な情報を調べたり集めたりする【生】 ○労働と金銭、消費生活の関係を理解する【生】
遊びの指導	<指導目標>	◆大人の働きかけを受けながら「人・もの・こと」にかかわろうとする意欲をもつ	◆好きな遊びをもち進んで遊ぶことで、様々な身体活動を行ったり、友達やいろいろな物とかかわる意欲をもったりする			
	学習内容	○遊びや活動に取り組む【自】 ○人やものに興味を示す【自】	○自分から好きな遊びに取り組む【自】 ○好きな活動や遊びを選ぶ【意】 ○人やものとかかわるを楽しむ【自】 ○簡単なルールを守って遊ぶ【集】			
作業学習	<指導目標>			◆働くことに関心をもち、分担したり協力したりして作業に取り組む	◆職業生活に向けたよりよい知識・技能・態度を身に付け、働く喜びを味わう	
	学習内容			○分担・協力して作業に取り組む【勤】【集】 ○手順表や見本を見ながら、指示通りに作業をする【勤】 ○働くことに慣れ、決められた時間通りに作業をする【勤】	○きまりや礼儀を守って人とかかわる【集】【地】 ○自分の役割に責任をもち意欲的に働く【勤】 ○道具や機械の仕組みを理解し、正しく操作する【仕】 ○材料や製品の扱い方を身に付け、適切に管理する【仕】 ○安全や衛生に気を付けながら、正確に効率よく作業する【仕】	

<観点>

【生】生活設計      【自】自己理解      【勤】勤労観・職業観      【意】意志交換      【仕】仕事      【集】集団参加-協調性      【地】地域社会